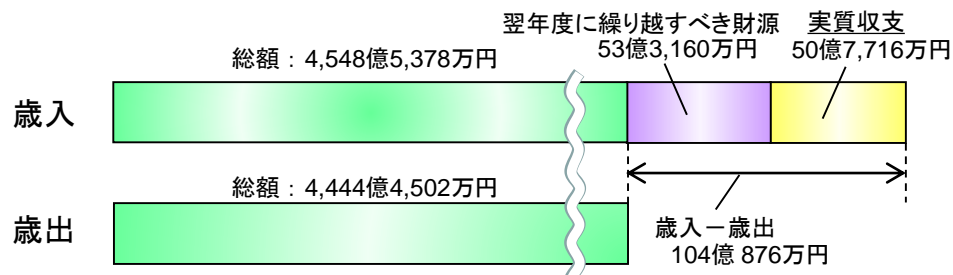


令和2年度 熊本市一般会計の決算について

I 一般会計の収支状況



【令和2年度決算の特徴】

- ▶決算規模は過去最大
- ▶実質収支は減少

<参考> 過去の決算状況

	実質収支	歳出規模
R 1年度	62億 844万円	3,883億4,670万円
H30年度	59億7,723万円	3,779億8,752万円
H29年度	58億2,251万円	4,027億2,459万円

II 新型コロナウイルス感染症関連

1 感染防止と市民生活・地域経済の両立：894億4,335万円

(1) 感染拡大を防止する：33億4,960万円

- ①感染拡大防止対策 ②医療提供体制の整備
各種施設感染防止対策経費、スクールサポートスタッフ設置経費 外

(2) 市民生活を守る：776億4,616万円

- ①正しい知識の普及啓発と人権擁護 ②市民生活・健康の維持 ③子どもたちの学びと心のサポート
熊本市児童扶養手当臨時特別給付金給付事業、学校再開対応経費 外

(3) 地域経済を再建する：74億1,855万円

- ①中小企業・小規模企業等の事業継続 ②雇用の維持と人材育成 ③域内需要の循環 ④域外需要の取り込み ⑤「新しい生活様式」に対応した農水産業の振興 ⑥企業誘致と移住促進
新型コロナウイルス対応融資利子補給事業、緊急家賃支援事業、国産農産物供給力強靱化対策事業 外

(4) 強靱な社会経済基盤を構築する：10億2,904万円

- ①行政のデジタル化 ②スマートシティの実現 ③持続可能なまちへの転換
庁内ネットワーク整備経費、地方バス路線・鉄道・フェリー航路維持費助成 外

III 熊本地震からの復旧復興

※第7次総合計画に掲げる事業費ベース

2 熊本地震からの復旧復興：209億7,031万円*

(1) 被災者の生活再建に向けたトータルケア：60億1,555万円

宅地耐震化推進事業、生活困窮者自立支援事業 外

(2) 防災・減災のまちづくり：94億5,545万円

地域防災力強化促進事業、建築物耐震化促進事業 外

(3) 熊本地震の記録と記憶の伝承：54億9,931万円

震災復興発信強化経費、新体験型防災学習推進事業 外

IV まちづくりの重点項目

3 「上質な生活都市」の実現：303億2,138万円

(1) 安心して暮らせるまちづくり：92億8,140万円

- ①誰もが安心して子育てできる環境の整備 教育の情報化推進経費 外
②「おたがいさま」で支え合う地域コミュニティの形成 健康ポイント事業 外

(2) ずっと住みたいまちづくり：136億7,295万円

- ①誰もが移動しやすく暮らしやすい都市づくり
熊本駅白川口駅(東口)駅前広場整備事業 外
②雇用機会を創出し、熊本に住み、働ける環境の整備
ビジネス支援のあり方検討経費 外

(3) 訪れてみたいまちづくり：73億6,703万円

- ①伝統文化とエンターテインメントが共鳴するにぎわいの創出
シンボルプロムナード等整備事業 外
②自然と共生する恵み豊かな熊本の発信
全国都市緑化フェア開催推進経費 外

4 その他の重点的取り組み

(1) 市役所改革の推進

地域ニーズに対応した区・局連携事業、キャッシュレス決済導入経費 外

(2) 新市基本計画の推進：52億9,468万円(※企業会計を含む投資的経費)

合併各町との「新市基本計画」の着実な推進